

区画整理と用水整備による農作業の効率化で経営の複合化を実現 ～三上 博由 氏～

経営体の概要

事業実施前：平成17年

基幹作物：小麦、ばれいしょ、てんさい、
ながいも

経営面積：29.4ha



事業実施後：平成28年

基幹作物：小麦、ばれいしょ、てんさい、
ごぼう、ながいも

経営面積：39.6ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

区画整理による農作業の効率化、安全性の向上が図られるとともに、畑かん用水の整備によって防除等用水の運搬作業が解消されたことで、経営規模の拡大によるばれいしょ、てんさいの作付増（1.8倍）とごぼう等の野菜導入による複合経営を確立し、経営の安定化を図った。

営農改善のポイント

①輪作体系の確立と野菜類の作付拡大

小麦、ばれいしょ、てんさいの3作物を基幹作物とするが、区画整理や防除用水利用の省力化によって輪作体系を確立するとともに、保有労働力に見合ったごぼうの導入を実現した。



収穫前のごぼうほ場

②防除用水利用の省力化と干ばつ防止の工夫

ほ場給水栓整備による短時間給水の実現と運搬作業の解消を背景として、大型スプレーヤー(6,000L)を導入し、防除作業経費の大幅な削減を果たした。また、ごぼうの播種時期で干ばつ傾向になった際、発芽遅延や発芽不揃いになることがあるため、大型スプレーヤーを工夫してかん水を行うことにより、初期生育促進に効果を発揮している。



大型スプレーヤー

③担い手の育成と技術の継承

指導農業士(H22認定)として、積極的な地域の若手・担い手への指導助言や、管内指導農業士・農業士研修会における現地研修先になるなど、蓄積した技術を地域農業に還元している。



ごぼうの選果

事業概要

事業種：畑地帯総合土地改良パイロット事業

関係市町：斜里郡清里町

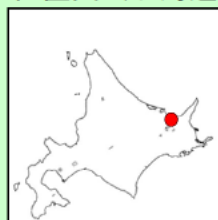
受益面積：12,910ha

事業期間：昭和53年～平成21年

事業目的：用水改良、畑地かんがい、排水改良、
農地造成、区画整理

主要工事：ダム1箇所、頭首工3箇所、用水路229.7km、
排水路9.1km、道路32.5km、
農地造成453ha、区画整理7,593ha

位置図（北海道）



小清水地区

<問い合わせ先>

北海道開発局 農業水産部
農業振興課 調整係

電話：011-709-2311
(内線5684)

(平成28年度調査時点)